

Berlin Report

October 2024

CONTENTS

* Project 1: THE KNAST

1. THE KNAST

Project Overview

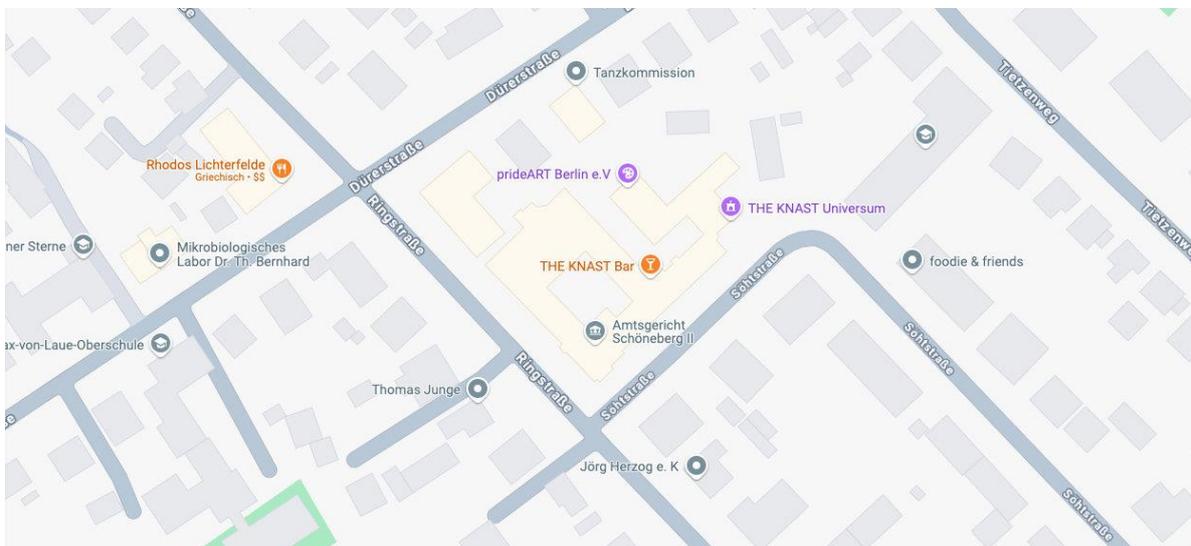
ベルリン南部、Lichterfelde に 1906 年に完成した女子刑務所が、アートとカルチャー、グルメレストランとバーを持つ複合施設「THE KNAST」として改装され、話題を呼んでいる。KNAST とはドイツ語で“刑務所”を指す言葉だ。住宅地の一角に造られたこともあって、あからさまに刑務所的な見た目にならないように設計されたという建物は、まるで豪華な邸宅のよう。しかし一歩足を踏み入れれば独房が並んでいたり、そのギャップも面白い。館内にあるレストランや、完全に撮影禁止のスピークイージーバーのインテリアを手掛けたのは、オーナーの Dr. Joachim Köhrich と Janina Atmadi。市内中心部でミシュランの星付きレストラン「theN0name」を運営していた彼ら。2023 年末に店を閉め、THE KNAST のプロジェクトに専念しているが、新しい店は theN0name のインテリアからインスピレーションを受けて作ったものだという。

白くクリーンな室内にビロードのソファや無垢材のテーブルなど素材感のある家具を配置し、照明を落とすことで五感を刺激するように考えられていた theN0name の内装。それに対して元刑務所の荒削りな空間では、床にドリッピングを施したり扉は刑務所時代のディティールを強調しつつも、滑らかなレザーのスツールや銅を組み合わせたテーブルで、洗練された雰囲気を醸し出している。基調にしているのは、刑務所内部に残されているグリーングレーやレンガのような赤色だ。独房が並ぶ空間はそのまま生かして、PrideART Berlin というコレクティブによるLGBTQI+A-Community のアーティストのアトリエや、展覧会などが行われるアートスペースになっている。独房はホテルに改装する計画も進行中。これからも注目のアドレスだ。

Project Details

1. Client: The Knast
2. Type of Business: Restaurant, Cocktailbar, Studio, Event & Cultural space, Soon to come: Hotel
3. Open Date: Bar 12/2023, Restaurant 17/05/2024
4. Location: Soehntstrasse 7, 12203 Berlin
5. Size: Basement, two upper level, attic with Suites
6. Rebuilding: büro west, Uwe Drepper, Interior: Janina Atmadi, Dr. Joachim Köhrich
7. Website: <https://theknast.de/>

Location Map



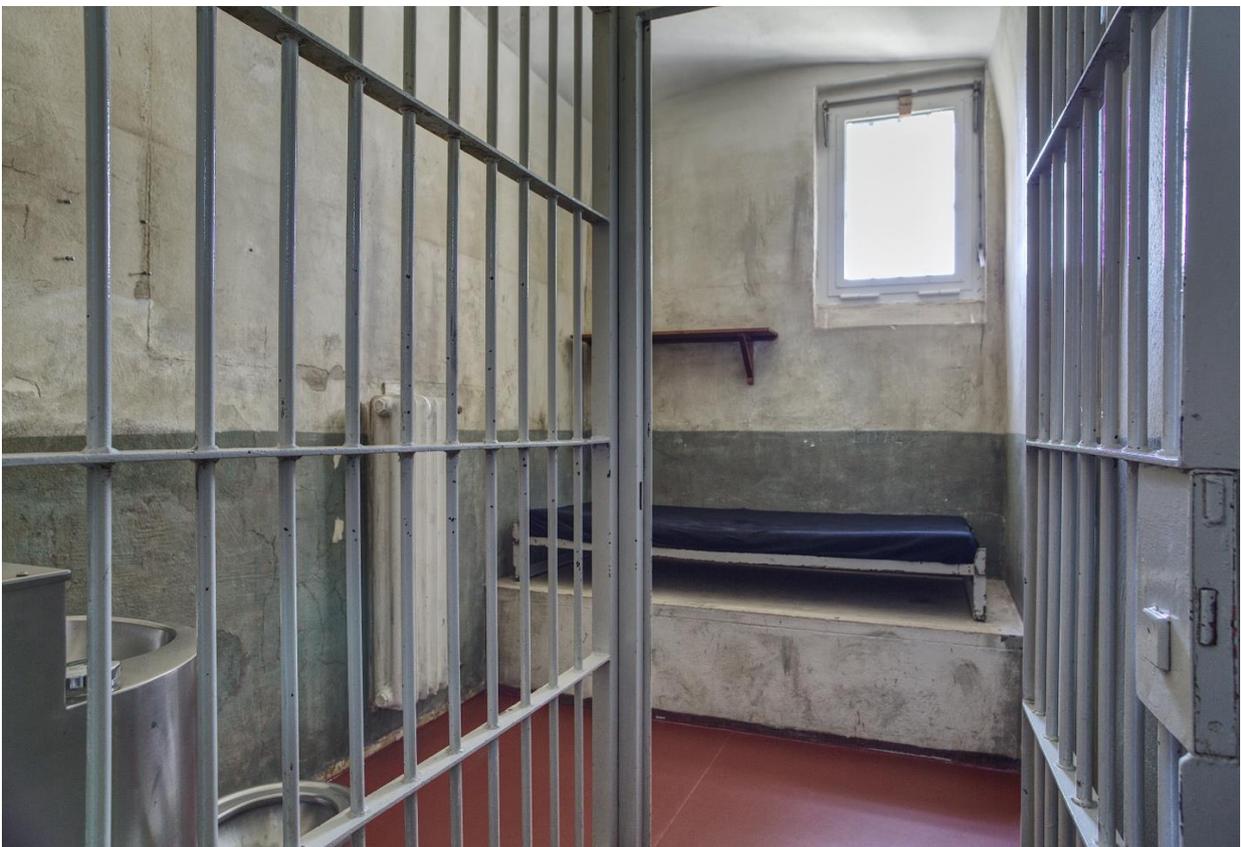


上：入口を改装したレストランスペース。折り上げ天井と間接照明で圧迫感のある空間に広がりをもたせ、下：アトリエとして使われている独房が並ぶ空間。





上：レストランの壁には独房のドアを想起させる扉を並べて。下：荒削りなままに残されている独房の壁。今後は宿泊施設への改装も予定。





上：水回りは落ち着いた、暗いトーンで統一。ラグジュアリーな素材感がホテルのバスルームのよう。分厚い一枚板をカウンターに採用し、壁には刑務所でも使われていた工業用の照明をいくつも並べた。鈍く光る銅板や石の素材感が残るシンクなど、温かみのある自然素材を多用している。



上：刑務所空間のキーカラーは、グリーングレーと赤。レストランのインテリアでも、この2色が基調となっている。

20世紀初頭、バウハウスなどにも通じるミニマルで機能的な建築だ。



上：卓球台が残る刑務所の中庭。螺旋階段は、奥の塔と呼応するように、改装の段階で取り付けられた。



上：木のカウンターと銅板を張った天井が温かみのある、コージーな空間を演出。下右：対照的に、冷え冷えと冷たい独房空間。個々の独房は、約3.5×2.5メートル。下左：周囲を取り巻く邸宅群から浮かない、豪華なファサードが印象的な建築。刑務所の前には裁判所がある。

